

第10回中央地区まちづくり協議会

中央地区のまちづくり2024



登別市総務部本庁舎整備推進グループ

会議次第

1 開会

2 『提言(最終報告)』(案)について

3 その他

4 閉会

会議次第

1 開会

2 『提言(最終報告)』(案)について

3 その他

4 閉会

WGにおける協議事項について

中央地区の活性化に向けた取組

①現庁舎、アーニス周辺環境整備

②中心地にある商業施設の活性化

既に中間報告をとりまとめ

③現庁舎跡地の具体的な利活用方法

前回協議会(R6.8.21):【提言の具体的方向性】

「宿泊施設の誘致」

宴会場や宿泊客以外も利用できるスペースを併設した宿泊施設の誘致を提言。
さらに既存施設再開の動きには支援を探るべき旨を記載。

「観光客の誘致」

物販機能を有した道の駅的施設、体験型農園などを例示した上で、観光客をターゲットに、地域住民にもアピールする施設の誘致を提言。
なお、道の駅的施設は東小跡地も含めて検討するよう記載。

「子育て支援施設」

子どもとその親をターゲットとした施設の誘致を提言。
さらに新庁舎併設施設と対象が重複しないよう検討すべき旨を記載。

WGにおける協議事項について

中央地区の活性化に向けた取組

①現庁舎、アーニス周辺環境整備

②中心地にある商業施設の活性化

既に中間報告をとりまとめ

③現庁舎跡地の具体的な利活用方法

前回協議会(R6.8.21):【提言の具体的方向性】

「地域交通の充実」

乗合タクシーやコミュニティバス等を例示した上で、中央地区周辺の地域交通の充実を提言。

「地域におけるイベントの充実」

地域におけるイベントの充実を図るため、イベントスペースの拡充を提言。さらに中心地にある老朽建築物の除却と跡地活用を検討すべき旨を記載。

提言の前だれ(加筆)部分

これまでの協議を踏まえると、中央地区のまちづくりのあり方としては、コンセプトである『観光とまちをつなげる つなげる 人と人 ホッとするまちづくり』が示すとおり、域外からの観光客と地域住民が交流し、両者によって賑わいが創り出される方向性が見出されるものと考えます。

そのため、この地区に求められる機能としては、宿泊機能や観光客の誘致に資する機能、子育て支援機能、教育・文化機能などが想定されるほか、環境整備の一環としては、それぞれの機能が有機的に繋がるよう、この地区と周辺を結ぶ地域交通やイベントスペースなどが想定されるものと考えました。

これを踏まえて、協議事項①～③について検討した結果、協議会としては、各テーマについて、次の方向性を提言する。

なお、協議事項③に関する提言である宿泊施設については、サウンディング型市場調査をはじめとした民間事業者への聞き取りにより、新たに宿泊施設を誘致することは、実現性の面で課題が多いとも考えられることから、現庁舎跡地への新規誘致に拘らず、過去に中央地区で営業していた施設に再開の動きがある場合等には、これを支援するなどの取組を市に対して期待する。

また、同じく協議事項③に関する提言、観光客の誘致に資する施設に関連して言及する物販機能を有した「道の駅」的な施設については、令和7年3月をもって閉校となる幌別東小学校の跡地活用も含めて検討するよう期待する。

提言(最終部分)の文案

現庁舎跡地の具体的な利活用方法については、地区内に滞在する宿泊客等の増加により、商業施設や飲食店に経済効果を及ぼし、中央地区の活性化に繋げるため、宴会場や宿泊客以外も利用できるスペースを併設した宿泊施設の誘致を提言する。

同じく現庁舎跡地の具体的な利活用方法については、登別温泉を訪れる観光客を呼び込み、これを中央地区の活性化に繋げるため、物販機能を有した「道の駅」的な施設、体験型農園など、観光客をターゲットに、地域住民にもアピールする施設の誘致を提言する。

同じく現庁舎跡地の具体的な利活用方法については、市内外から親子連れを中央地区に呼び込み、中央地区の活性化に繋げるため、子どもとその親をターゲットとした施設の誘致を提言する。

一方、新市役所本庁舎に同種の機能が併設されることを踏まえ、子育て支援施設の誘致にあたっては、当該施設と年齢層や方向性などが重複しないよう留意することを期待する。

なお、実際に、現庁舎跡地への施設誘致に取り組むにあたっては、民間事業者の動向を踏まえ、上記3つの方向性のうち、最も可能性の高い方策を探ることはもちろん、その動向等によっては、これらのうち複数の機能を有する複合的施設を検討することも期待する。

提言(最終部分)の文案

現庁舎、アーニス周辺の環境整備については、中央地区と周辺地域を結んで地元客を呼び込み、中央地区の活性化に繋げるため、デマンド型乗合タクシーやコミュニティバスの事業化など、中央地区周辺における地域交通の充実を提言する。

また、現在でも中央地区では様々なイベントが開催されているが、内外からの来訪客を増やし、これを中央地区の活性化に繋げるためには、イベントの種類や回数を増やすことも一策である。しかし、既存の広場等ではそうした取組にも限界があることから、地域におけるイベントの充実を図るため、イベントスペースの拡充を提言する。

なお、現在、中央地区におけるイベントは、その多くが中心地に位置するらえば公園で行われていることから、らえば公園との一体的な活用も視野に、隣接する民間所有の老朽建築物(中央町4丁目8番地1)を除却し、同地(民間所有)を整備して活用することも検討するよう期待する。

提言(最終部分)のレイアウト

4. 中央地区のまちづくりに関する提言(最終報告)

これまでの協議を踏まえると、中央地区のまちづくりのあり方としては、コンセプトである『観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり』が示すとおり、域外からの観光客と地域住民が交流し、両者によって賑わいが創り出される方向性が見出されるものと考えられる。

そのため、この地区に求められる機能としては、宿泊機能や観光客の誘致に資する機能、子育て支援機能、教育・文化機能などが想定されるほか、環境整備の一環としては、それぞれの機能が有機的に繋がるよう、この地区と周辺を結ぶ地域交通やイベントスペースなどが想定されるものと考えた。

これを踏まえて、協議事項①～③について検討した結果、協議会としては、各テーマについて、次の方向性を提言する。

なお、協議事項③に関する提言である宿泊施設については、サウンディング型市場調査をはじめとした民間事業者への聞き取りにより、新たに宿泊施設を誘致することは、実現性の面で課題が多いとも考えられることから、現庁舎跡地への新規誘致に拘らず、過去に中央地区で営業していた施設に再開の動きがある場合等には、これを支援するなどの取組を市に対して期待する。

また、同じく協議事項③に関する提言、観光客の誘致に資する施設に関連して言及する物販機能を有した「道の駅」的な施設については、令和7年3月をもって閉校となる梶別東小学校の跡地活用も含めて検討するよう期待する。

①現庁舎、アーニス周辺の環境整備については、中央地区と周辺地域を結んで地元客を呼び込み、中央地区の活性化に繋げるため、デマンド型乗合タクシーやコミュニティバスの事業化など、中央地区周辺における地域交通の充実を提言する。

また、現在でも中央地区では様々なイベントが開催されているが、内外からの来訪客を増やし、これを中央地区の活性化に繋げるためには、イベントの種類や回数を増やすことも一策である。しかし、既存の広場等ではそうした取組にも限界があることから、地域におけるイベントの充実を図るため、イベントスペースの拡充を提言する。

なお、現在、中央地区におけるイベントは、その多くが中心地に位置するらえば公園で行われていることから、らえば公園との一体的な活用も視野に、隣接する民間所有の老朽建築物(中央町4丁目8番地1)を除却し、同地(民間所有)を整備して活用することも検討するよう期待する。

②中心地にある商業施設の活性化については、(既に中間提言したとおり)単に買い物客の増加だけでなく、中央地区への来訪客数を増やし、中央地区の活性化に繋げるため、中心地にある商業施設(ショッピングセンターアーニス)内に市立図書館本館を移転することを提言する。

③現庁舎跡地の具体的な利活用方法については、地区内に滞在する宿泊客等の増加により、商業施設や飲食店に経済効果を及ぼし、中央地区の経済活性化に繋げるため、宴会場や宿泊客以外

も利用できるスペースを併設した宿泊施設の誘致を提言する。

同じく③については、登別温泉を訪れる観光客を呼び込み、中央地区の活性化に繋げるため、物販機能を有した「道の駅」的な施設、体験型農園など、観光客をターゲットに、地域住民にもアピールする施設の誘致を提言する。

同じく③については、市内外から親子連れを中央地区に呼び込み、中央地区の活性化に繋げるため、子どもとその親をターゲットとした施設の誘致を提言する。

一方、新市役所本庁舎に同種の機能が併設される予定であることを踏まえ、子育て支援施設の誘致にあたっては、当該施設と年齢層や方向性などが重複しないよう留意することを期待する。

なお、実際に、現庁舎跡地への施設誘致に取り組むにあたっては、民間事業者の動向を踏まえ、上記3つの方向性のうち、最も可能性の高い方策を探ることはもちろん、その動向等によっては、これらのうち複数の機能を有する複合施設を検討することも期待する。

中央地区のまちづくりに関する提言(最終報告)

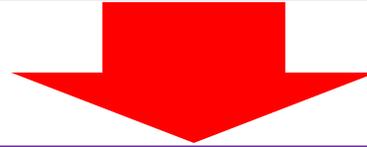
- ①現庁舎、アーニス周辺の環境整備については、「中央地区における地域交通の充実」、「(地域におけるイベントの充実を図るため)イベントスペースの拡充」を提言する。
- ②中心地にある商業施設の活性化については、「商業施設(ショッピングセンターアーニス)内に市立図書館本館を移転する」ことを提言する。
- ③現庁舎跡地の具体的な利活用方法については、「宴会場や宿泊客以外も利用できるスペースを併設した宿泊施設の誘致」、「観光客をターゲットに、地域住民にもアピールする施設の誘致」、「子どもとその親をターゲットとした施設の誘致」、またはそれら機能のうち複数の有する複合施設の誘致を提言する。

以上が、中央地区のまちづくりに関する本協議会の提言となるが、市に対しては、今回提言した方向性を踏まえて、民間事業者へのさらなる聞き取りなどによって実現性を精査し、民間施設の誘致や公共スペースの整備などに取り組むことを期待する。

報告書の修正部分

事前送付の報告書 P 6 「3. これまでの協議経過」 (協議テーマ②「中心地にある商業施設の活性化」に関する記述)

その結果、全国的にも、商業施設に図書館を設置し、これを核にまちづくりを進めている例は多く、当該商業施設の活性化だけでなく、その周辺にも波及効果が期待できること、図書館の誘致が文化への興味を高め、これによる購買意欲の向上が期待できること、などから、市立図書館を移転することで活性化を図る方向で提言（中間報告）案をまとめ、第5回協議会で提案した。



その結果、全国的にも、商業施設に図書館を設置し、これを核にまちづくりを進めている例は多く、当該商業施設の活性化だけでなく、その周辺にも波及効果が期待できること、図書館の誘致が文化への興味を高め、これによる購買意欲の向上が期待できること、コンセプトである『観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり』に込められた思いーどの世代の人でもホットとできる、目的がなくても行きたくなるようなまちに繋がるものであることなどから、市立図書館を移転することで活性化を図る方向で提言（中間報告）案をまとめ、第5回協議会で提案した。

報告書の修正部分

事前送付の報告書P7「3. これまでの協議経過」 (第11回ワーキンググループに関する記述)

続く第11回ワーキンググループでは、これまでの議論を振り返り、提言のとりまとめに向けた考え方を協議するとともに、ワーキンググループを中心としたこれまでの議論において、委員より様々な意見が出されたことを確認した。



続く第11回ワーキンググループでは、コンセプトである『観光とまち つながる つなげる 人と人 ホッとするまちづくり』に基づき行われてきたこれまでの議論を振り返り、提言のとりまとめに向けた考え方を協議するとともに、ワーキンググループを中心としたこれまでの議論において、委員より様々な意見が出されたことを確認した。

報告書の修正部分

事前送付の報告書 P 9 「3. これまでの協議経過」 (5つの想いを中心に協議を進めることに関する記述)

このため、今後は、この5つの思いを中心に議論を進めることとし、さらに提言については、市が事業性や実現可能性をフレキシブルに検証できるよう、具体の事業ではなく、施設誘致の方向性等を複数位置付けることとし、具体的な事業手法にも言及しない形でとりまとめることを確認した。



これら5つの想いはいずれも、コンセプトである『観光とまち つながる つなげる 人と人 ホッとするまちづくり』に込められた思い－観光とまち、人と人とを繋げ、にぎわいを創り上げるまち、どの世代の人でもホッとできる目的がなくとも行きたくなるようなまち－に沿うものであることから、今後は、この5つの思いを中心に議論を進めることとした。さらに提言については、市が事業性や実現可能性をフレキシブルに検証できるよう、具体の事業ではなく、施設誘致の方向性等を複数位置付けることとし、具体的な事業手法にも言及しない形でとりまとめることを確認した。

会議次第

1 開会

2 『提言(最終報告)』(案)について

3 その他

4 閉会